医薬品リスク管理計画
（RMP）

ダラザレックス®
ダラキューロ®
患者 ID カード

監修

東邦大学医療センター大森病院 輸血部 **奥田 誠** 先生

ヤンセンファーマ株式会社

Janssen

DRQ-0011
DRQ-Pug1MAF2P1
2021年8月作成
©Janssen Pharmaceutical K.K. 2021

私は、ダラザレックス®/ダラキューロ®（抗CD38抗体）治療中です

ダラザレックス®又はダラキューロ®治療を受けている/受けた患者さんへ

このカードの中面にはダラザレックス®又はダラキューロ®治療開始前（初回投与前）に行った輸血前検査結果を記載しています。

ダラザレックス®又はダラキューロ®治療中および最終投与から6ヵ月間は、このカードを常に携帯し、輸血が必要になった際は輸血を担当する医師または医療スタッフに提示してください。

ヤンセンファーマ株式会社

輸血検査の専門機関及び検査部門の医療関係者の方へ

・ダラザレックス®［一般名：ダラツムマブ（遺伝子組換え）］、ダラキューロ®［一般名：ダラツムマブ（遺伝子組換え）／ボルヒアルロニダーゼアルファ（遺伝子組換え）］は、ヒト型IgG1κモノクローナル抗体であるダラツムマブがCD38に結合することで効果を示す薬剤です。

・ダラツムマブは、赤血球膜表面に発現するCD38と結合し、間接抗グロブリン試験（間接クームス試験）において、偽陽性（汎反応性）になることがあります（ABO型及びRh型の判定には影響しません）。

・この干渉は、ジチオスレイトール（DTT）処理により回避できますが、Kell血液型抗原がDTTにより破壊されるため、抗Kなどの抗体の存在を否定できません。

・間接抗グロブリン試験（間接クームス試験）への干渉は、ダラザレックス®又はダラキューロ®治療中及び最終投与から6ヵ月後まで持続する可能性があります。

・輸血の際は、ダラザレックス®又はダラキューロ®治療開始前（初回投与前）に実施した、本カードに記載の輸血前検査結果（不規則抗体の有無）等を参考にしてください。

・詳細については、ヤンセンインフォメーションセンター又は弊社担当MRにお問い合わせください。
製品添付文書もあわせてご参照ください。

【参考資料】
Chapuy, Cl., et al.: Transfusion, 55(6 Pt 2), 1545-1554, 2015
Oostendorp, M., et al.: Transfusion, 55(6 Pt 2), 1555-1562, 2015

監修：東邦大学医療センター大森病院 輸血部 **奥田 誠** 先生

DRQ-0011
DRQ-Pug1MAF2P1
2021年8月作成

©Janssen Pharmaceutical K.K. 2021

ダラザレックス®/ダラキューロ® 患者 ID

記入日：　　年　　月　　日

患者さん 氏名: _____

ダラザレックス®/ダラキューロ® 治療開始日:　　年　　月　　日

◆ ダラザレックス®/ダラキューロ® 治療状況:

☐ 治療中　☐ 治療終了(最終投与日:　　年　　月　　日)

◆ ダラザレックス®/ダラキューロ® 治療担当医師

医療機関名: _____

担　当　医: _____

電 話 番 号: _____

ダラザレックス®/ダラキューロ® 治療開始前(初回投与前)の患者プロフィール

検査実施日：　　年　　月　　日

◆ 不規則抗体:

☐ なし

☐ あり(抗体: _____)

◆ 輸血の既往:

☐ なし　☐ あり　(輸血実施日:　　年　　月　　日)

(輸血実施日:　　年　　月　　日)

(輸血実施日:　　年　　月　　日)

◆ その他特記事項: _____